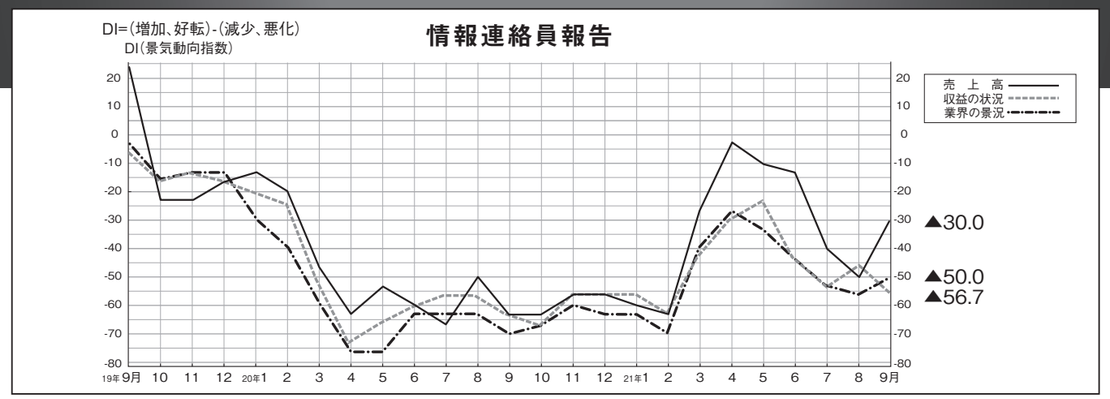
情報連絡員報告を中心とした

県内各業界の動向

2021年9月（前年同月比）



業界の状況　…好転　…やや好転　…不変　…やや悪化　…悪化

食品団地
9月度商況は、コロナ禍による店舗の休業等で県内市況は低調、県外市況からの受注増等によって、前年対比を維持できた企業が見受けられた。全般的には厳しさが続いている。

酒類製造
外食自粛、観光客減少による消費の落ち込みが続き、出荷量の減少止まらず。

テントシート
コロナ禍でイベント関連主力の事業所は、まだまだ大変な状況。

木製品素材生産
スギ・ヒノキ共に量・価格共に横ばいの状況。

製材
原木は不足気味で価格の上昇傾向は続いている。

製紙（家庭紙）
コロナの影響と夏場の不需要期が重なり、9月も低調に推移した。10月に入り、感染者が急激に減少している為、“人流”が回復し需要が戻る事を期待している。

印刷
9月は昨対を若干上回るが、一昨年対比は80%程度。県外需要で一部回復傾向が見られるが、県内需要が相変わらず厳しい。全体で前年対比は若干上回るが、一昨年対比で見ると相変わらず減で厳しい状況。

生コンクリート製造
高知市周辺の市況、未だ改善されず。

コンクリート製品
出荷数量は、前年同月比147%。令和元年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた。令和2年7月分以降は、増減を繰り返し、令和3年9月分増加に転じた。

機械団地
コロナ感染が落ち着きを見せる中で、徐々に引き合いは増える傾向にあるが、原材料費高騰による納品遅延や収益悪化が事業活動に影響している。

刃物製造
コロナ第5波の影響か、小売業者・店舗からの受注・納品がかなり落ち込んでしまった。

船舶製造
生産状況は引き続き高い水準で推移している。

珊瑚装飾品製造
9月の取引額は前年同月比95%、前々年同月比57%と厳しい状況が続いている。

卸団地
•海外の納期遅れが増加。•購買意欲は低下したままで、景気回復は感じられない。•非常事態宣言で飲食店への悪影響大、関連業者は開店休業状態。月末頃になり、改善方向に向かうも、安心できる状態ではない。

青果卸売
7～8月の天候不順等のため、入荷減と相場高騰により売上高は全体で約1割ダウン。コロナの景況も合わさり業績は悪化した。

生鮮魚介卸売
アジ、サバの入荷は少ないが、カツオ、シイラは順調に入荷。マグロの需要は足りている。コロナの影響（飲食店等の時短）もあり売上げは減少している。

各種小売（土佐市）
人が動かず、店も元気がない。今の状態が続くと店の存続が心配される。

ガソリンスタンド
原油価格は新型コロナウイルスワクチンによる景気回復の期待や米国ハリケーンによる在庫の減少やサウジ原油調整金の上昇により毎週上昇したため、10月の市況は大きく変動しそう。再度の感染拡大が心配。

電気機械器具小売
9月度は、全商品平均で前年比89.6%。昨年は、国の補助金があり好調であったが、今年度は厳しい。

中古自動車小売
中古車市場の流通量の減少と相場の高値が続く中、仕入れに苦戦している。販売面では、高年式車、高価格帯の販売が続いている。

商店街（安芸市）
9月後半からコロナ感染者数が徐々に減少しており、これに伴い商店街への人の流れが増える事を期待。

商店街（高知市）
中央公園地下駐車場利用状況　売上：前年比160.3%　台数：85.4%。昨年はコロナ対策で、土日祝を無料開放した関係で、収入はアップしているが、利用台数は昨年よりも15%減少、来街者は中々元に戻らない。

商店街（四万十市）
シルバーウィーク頃から観光客が増加。食事をしてからお酒が飲める店への流れも少し出てきたようだ。感染症対策を守りながらの小さなイベント等も控えめながら計画中。地元の人達はまだまだ出歩かない。

旅館・ホテル
緊急事態宣言、まん延防止措置を受け、予約は低調。団体、個人ともキャンセルが相次ぐ。行楽シーズンに入る中、上記制限が解除となり、少しでも回復することを期待する。

飲食店
食糧品全体に値上がり傾向、仕入価格が上昇。全国的な緊急事態宣言・蔓延防止重点処置によりすべての業態において集客は激減。前年度同月と比べても売り上げは7、8割となった。業界の景況は更に悪化した。

旅行業
組合クーポン、全旅クーポントータルで前年同月対比6%。

一般土木建築工事
令和3年9月分の公共用生コン出荷量は、前月比143.2%、前年同月比116.4%。公共工事請負金額は前年同月比で90.1%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。

電気工事
組合員の施工する電力引き込み線工事量は、前年同月比126.5%となった。高知中央地区の伸びが大きい。

一般貨物自動車運送
まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の影響は少ながらずあったが売上は昨年とほぼ同等となった。燃料価格の高騰などもあり収益は減少した。

タクシー
実働1日1車当りの前年同月比営業収入：85.3%、輸送回数：86.3%。実働率は50.1%。全国的に感染者が減少傾向にあり、少しは明るい状況が見えるといいのだが…

立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上
三井住友海上の安心 GK
クルマの保険　すまいの保険　ケガの保険
www.ms-ins.com